

平成24年度 前沢小学校アクションプランを策定しました

平成24年度前沢小学校アクションプランを策定しました。

アクションプランは、具体的な数値目標などを設定して、よりよい学校づくりの取組を進めるものです。

平成23年度と同様に、知育、体育、徳育の3つのアクションプランを策定しました。平成23年度の学校評価などに基づき、子どもたちのよさをいっそう伸ばし、取組を通して励ましていけるよう、一部に改善を加え、取組については、校内での評価や反省を加え改善するだけでなく、学校評価アンケートや学校評議員会などの機会を用いて、保護者や地域のみなさんのご意見を聞きながら、子どもたちがより達成感をもてる取組となるよう適宜見直しを図っていきます。

アクションプラン1

朝の読書「読書タイム」の定着や学年の読書目標の設定により、読書に親しむ子どもが増えています。目標の何倍もの読書量の子どもが見られる一方で、なかなか読書量が増えない子もいます。

子どもたちが取り組みやすく励みになるような目標設定で、読書に対する意欲を高めていきたいと考えています。

年間の学年読書目標を達成した子どもの割合が80%以上を目指します。

アクションプラン1の具体的な取組

- ・各学年ごとに、冊数やページ数で年間の読書目標を立てます。
- ・週2回、業前活動として読書タイムを設定します。
- ・教員や学校図書館活動推進員、子どもたちが相互におすすめの本を紹介したり、読み聞かせやブックトークなどを積極的に取り入れます。
- ・自主学習で、音読や読書に取り組む機会を増やします。
- ・読書強調週間を設け、「家読(うちどく)」などの実践を呼びかけます。
- ・図書委員会が、おすすめの本の紹介やクイズ、多読賞の表彰を行って、子ども同士が互いに励まし合う機会を作ります。
- ・学級文庫を月ごとに入れ替えたり、テーマをしぼった本のコーナーを作るなど読書環境を整えます。
- ・市立図書館などと連携して、多様な本に触れる機会を増やします。

おすすめの本の紹介



アクションプラン2

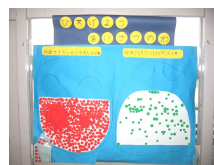
「おはよう」や「さようなら」などの挨拶を進んでする子どもが増えています。また、地域の人や来校されたお客さんへの挨拶は定着しつつあります。「おはよう」や「おやすみ」などの家庭内での挨拶も向上する傾向が見られます。

元気で明るく大きな声で挨拶できるよう「あいさつ運動」などの取組を進めて行きます。

子どもたちへの取り組みアンケート及び保護者へのアンケートで挨拶に関わる良い項目全体の平均がいずれも80%以上を目指します。

アクションプラン2の具体的な取組

- ・「しあわせ運動」の「わ」の運動として、児童会を中心に、「あいさつ運動」に取り組みます。
- ・大きな声で挨拶する子を「あいさつ名人」として紹介したり、表彰したりします。
- ・「あいさつ強調週間」を設定し、重点項目を設定し、カードや表などを用いて、自己評価を行います。
- ・挨拶をされたら元気に挨拶を返す「あいさつ返し」の習慣付けを図ります。
- ・家庭内で声を出して挨拶を交わし合う習慣付けができるよう呼びかけます。



あいさつ評価ボード

アクションプラン3

スポーツ少年団活動や習い事で運動する習慣がある子どもと、運動しない子どもに分かれている傾向があります。

「みんなでチャレンジ3015」への2回目達成への取組は年間を通して意欲を継続させるのが難しい面がありました。集中した期間での取組で、運動習慣の定着を目指します。

11月末までに「みんなでチャレンジ3015」の1回目の達成した子どもの割合が90%以上を目指します。

アクションプラン3の具体的な取組

- ・「体力づくりコーナー」を設け、力試しをしたり、多様な動きを試してみたりできるようにします。
- ・冬期間には、意欲的になわ跳び運動に取り組めるよう「なわとびカード」を使って、運動の日常化を図ります。
- ・水泳や器械運動など外部講師による実技指導を受けたり技能の高い子どもの技を見る機会を設けたりすることで、高い目当てをもって運動に取り組む意欲を高めます。
- ・「みんなでチャレンジ3015」の記録用紙を教室内に掲示します。
- ・健康委員会の子どもたちが、達成状況を定期的に全校に知らせ、達成への意欲の継続を図ります。



みんなでチャレンジ3015の教室掲示